第32回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会 チーム募集要項	全日本プール チーム１次要項

第32回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会
実行委員会

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、下記の通り「第32回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会」を開催いたします。
つきましては開催にあたり参加選手の募集をさせていただきますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。
また、本競技会は、国際ライフセービング連盟（ILS）の認定競技会となる予定です。ユース、オープンもしくはマスターズのカテゴリーにおいて世界記録を破った場合には、必要な手続きを経た上で世界記録として申請されます。

敬具

記

■日　　程　　2019年　5月18日（土）～19日（日）
■場　　所　　横浜国際プール　（神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1）
　　　　　　　横浜市営地下鉄「北山田」駅から徒歩5分
■主　　催　　公益財団法人日本ライフセービング協会
■認　　定　　国際ライフセービング連盟
■後　　援（予定）　スポーツ庁、神奈川県、日本水泳連盟、神奈川県水泳連盟、日本赤十字社
■協　　賛　　株式会社三洋物産/株式会社三洋販売
■協　　力（予定）　有限会社吉田三郎商店、神奈川県ライフセービング協会

■競技種目　［個人種目］

200m障害物スイム（女）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-6参照
200m障害物スイム（男）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-6参照
50mマネキンキャリー（女）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-6参照
50mマネキンキャリー（男）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-6参照
100mレスキューメドレー（女）
100mレスキューメドレー（男）
100mマネキンキャリー・ウィズフィン（女）
100mマネキンキャリー・ウィズフィン（男）
100mマネキントウ・ウィズフィン（女）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-6参照
100mマネキントウ・ウィズフィン（男）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-6参照
200mスーパーライフセーバー（女）
200mスーパーライフセーバー（男）

［チーム種目］

4×50m障害物リレー（女）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-7参照
4×50m障害物リレー（男）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-7参照
4×25mマネキンリレー（女）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-7参照
4×25mマネキンリレー（男）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-7参照
4×50mメドレーリレー（女）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-7参照
4×50mメドレーリレー（男）（中学生参加可能種目）※選手参加規定1-7参照
12.5mラインスロー（女）　全レーン使用で実施
12.5mラインスロー（男）　全レーン使用で実施

◆ 個人種目登録数は1人2種目までとします。3種目以上に出場する場合は、追加参加費（¥1,000/1種目）が必要となります。ただし、チーム種目は除きます。
◆ 個人種目については、エントリーする条件として「エントリー標準タイム」を設定します（詳細は別紙「エントリー標準タイムについて」を参照してください）。
標準タイムを超過している場合には、該当種目に出場できませんのでご注意ください。
◆ 下線のある種目は、タイム決勝で行います。
◆ エントリー数により予選・決勝をタイム決勝に変更することもあります。

■競技規則　基本的にJLA競技規則2018年版に従って実施しますが，詳しくは後述の「参加規程」をご覧ください。
※ルールを十分に理解し出場して下さい。

■ドーピング検査について

① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象競技会である。
② 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
③ 18歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2 時間の安静が必要となるので留意すること。
⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ･ドーピング機構のウェブサイト（http://www.playtruejapan.org）にて確認すること。

【18歳未満の方のみ】ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書

18歳未満（競技会1日目現在）の方は、ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書の提出が必要となります。本競技会の各種要項掲載内より「ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、期日までに郵送提出してください。

■タイムテーブル

別紙ご参照下さい。
※　確定版は、エントリー締切・集計後にご案内致します。

■得点方法　決勝の結果に対して得点が加算されます。個人、チーム種目とも同じ得点とし、配点は下記の通りとします。

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

①チームの総合得点が同点の場合は、1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は、2位の　　　種目の多いチームを…というように総合順位を決定します。
②総合順位は、本競技会で実施する20種目中、16種目（実施種目の80%）以上の最終競技結果をもって成立するものとします。
③決勝で失格の場合は0点とします。
④オープン参加の選手が決勝に残り、8位までの配点がつけられない場合には、予選のタイム上位の者より残りの配点を行う。

■表　彰（国内クラブ及び国内クラブに所属している選手）

＜日本ライフセービング協会理事長杯＞

総合優勝チームには理事長杯を贈ります。また、チーム総合1～3位には表彰状を授与します。

＜種目別表彰＞
各競技上位 1〜8 位は入賞とし、そのうち 1〜3 位には表彰式にてメダルを授与します。

■海外選手の出場登録

日本国永住者は除く日本国以外に国籍を持つ者、また日本国に住民票登録のない日本国籍を持つ者をいう。以下の条件を満たす海外競技者は国内クラブの一員として出場登録を認めます。満たさない場合でもオープン参加は可能です。

(1) 競技会参加規程に準じていること
(2) ILS に加盟している出身国代表組織の承認書を提出すること（様式任意）
(3) 国内出場クラブ長の承諾書を提出すること（様式任意）
※原則として、(2)(3)の書類提出期限は参加申込みと同様とします。

■参加費

【個人種目参加費】

一般　　…　1 名　8,000 円　※保険料含む。
高校生　…　1 名　5,000 円　※保険代含む
中学生　…　1 名　4,000 円　※保険代含む

【個人追加参加費】

個人種目について 3 種目以上に出場する場合は、追加参加費として 1 種目ごとに 1,000 円
※チーム種目は含まない
<u>※チーム種目のみに出場する選手も「申込用紙」でエントリーし参加費を支払うこと</u>

【チーム種目参加費】

1 種目につき 1,000 円

【変更手数料】

申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目・その他の記載事項の変更が可能です。但し、申込締切時にエントリー登録されている方のみを対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。
また、変更手数料として 1 つの変更につき 3,000 円が必要です。
振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。期限内に変更手数料の振込のない場合は変更を受付けません。

例：種目を 1 つ変更＝＋3,000 円
　　種目を 2 つ変更＝＋6,000 円

【参加費について】

参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、エントリーミスにより競技会に出場できない場合にも、返金は致しませんので、エントリー作業はお間違えのないように十分ご注意ください。

■代表者会議　競技進行や競技上の注意事項について説明する代表者会議を**5 月 18 日（土）競技開始前（予定）**に開催します。詳細につきましては 2 次要項にてチーム代表者宛にご連絡いたします。

■観覧席　安全管理上、各チームの観戦席の区分を予め主催者側で決めさせていただきますのでご了承ください。詳細は 2 次要項にてお知らせいたします。

■保険について

本競技会参加規程のもとでの参加者（選手、競技役員）は、以下の保険に加入しています。
なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため保険の対象となりません（例：レース中、A 選手のクラフトが B 選手のクラフトにぶつかり B 選手のクラフトが破損した）。競技会期間中の場合は、大会本部事務局にお知らせください。

＜傷害保険＞

死亡保険金額	500 万円
後遺障害保険金額	500 万円～20 万円
入院保険金額	3,000 円
手術保険金額	入院保険金額の 5 倍～10 倍

※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）

＜個人賠償責任保険＞

賠償責任保険（身体・財物）	1 億円

※1 事故につき 5 千円の自己負担
※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

＜団体賠償責任保険＞

賠償責任保険（身体・財物）	2 億円
賠償責任保険（管理財物）	50 万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50 万円
事故対応費	500 万円
見舞費用（死亡）	50 万円
見舞費用（後遺障害）	2 万円～50 万円
見舞費用（入院）	2 万円～10 万円
見舞費用（通院）	1 万円～5 万円

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

■その他

【競技成績証明書】

各種目で入賞された選手で、競技成績証明証が必要な方は JLA ホームページ「ライフセービングスポーツ→申請→競技成績証明書」を出力し、JLA 事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より 1 年以内の期間で受付をいたします。

■登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得して、個人管理ページで保有資格等の確認と 2019 年度登録費（資格登録や選手登録）の支払いをお済ませください。各種登録は 1 年ごとです。なお、登録方法などご不明な点は下記のサポートセンターにお問合せください。

●電話：06-4400-1063 （月水金/11時～16時）
●メール：「LIFE SAVERS」のお問い合わせフォームをご利用ください。
http://life-savers.jp

■お問合わせ先

日本ライフセービング協会事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1 階
TEL：03-3459-1445（対応時間：平日 12：00-18：00）
FAX：03-3459-1446

第 32 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会　参加規程

1　参加資格

競技者の参加資格は下記の 7 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1　競技者は、競技会初日当日満 15 歳以上でなければならない。但し、中学生を除く。

1-2　競技者は、ライフセービングを志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、本協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した者でなければならない。但し、中学生を除く。

1-3　競技者（一般）は、認定ライフセーバー資格、高校生は、BLS および WS の資格以上（中学生は、BLS および WS 推奨）を、4 月 21 日（日）までに検定を受け、取得していなければならない（検定に不合格となった場合でも、大会参加費の返金はしない）。

なお、認定ライフセーバー資格とは次の資格のことをいう（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）。

- サーフライフセービングインストラクター（アシスタント含む）
- プールライフガーディングインストラクター（アシスタント含む）
- IRB インストラクター（アシスタント含む）
- ジュニアライフセービングインストラクター（アシスタント含む）
- ベーシックサーフライフセーバー
- アドバンスサーフライフセーバー
- プールライフガード
- アドバンスプールライフガード
- IRB クルー
- IRB ドライバー
- リーダー

1-4　競技者は、5 月 6 日（月祝）までに、選手登録費及び資格登録費の支払いを完了していなければならない。

1-5　エントリー標準タイムが設定されている種目では、当該種目のエントリー標準タイム以下（チーム代表の責任において申告すること）でなければならない。

エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示すもので、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイム以下であることが条件です。エントリー標準タイムから著しく遅い（目安；①エントリー標準タイム+10%　②体力不足による DNF）場合、当該競技者のチーム代表者に対して事情確認をさせていただき、次年度の本競技会を出場停止とする。ただし、JLA 主催・認定競技会において、エントリー標準タイムをクリアし証明書を提出することで、出場停止は解除される。

以下、対象競技会

- 全日本ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会
- 全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会
- 神奈川県ライフセービング・プール競技選手権大会

チーム代表者の方は各選手がエントリー標準タイムを突破しているかどうかのご確認お願いいたします。

1-6　中学生は、過去に本協会が開催するユースプール競技会に出場した実績を有すること。

1-7　中学生は、上記 1-6 を満たしている場合のみ、チーム種目、4×50m 障害物リレー（女・男）・4×25m マネキンリレー（女・男）・4×50m メドレーリレー（女・男）に参加を認める。

2　チーム構成

2-1　チームは、申込締切日までに、第 1～6 種の団体登録が完了していなければならない。

2-2　１団体からの出場は１チームとする。

2-3　チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

2-4　チーム種目競技において，男女混合チームを編成することは認められない。

3　チーム名

参加チーム名は本協会に登録されているクラブ登録名とする。

4　出場登録

4-1　参加選手は個人種目、チーム種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない。

4-2　申込に過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」ができる。但し、すでに出場登録がされている方のみ対象とし、新たな選手の出場登録はできない。

なお、個人種目・チーム種目の全種目について、変更できるものとする。

5　チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を１名おかなければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。また、チーム代表者は必ず代表者会議に参加しなければならない。なお、止むを得ずチーム代表者が出席できない場合は、チーム代表者の責任において参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。

6　チームユニフォーム及び競技中の衣類

6-1　各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。

6-2　ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。

6-3　キャップは、登録されていない物でもよい。

6-4　キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

6-5　チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7　競技器材

7-1　競技で使用する器材はライフセービング競技規則「器材の規格」の基準を満たさなければならない。

7-2　プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキンは、主催団体が用意するものとする。

7-3　主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないかまたは失格となる。

7-4　全ての競技においてプールの水温は約 26 ℃，水深は 1.8 ｍ とする。

7-5　12.5 ｍラインスローにおいて，クロスバーとして障害物スイム等の障害物を用いる。

8　競技規則

本競技会は JLA 競技規則 2018 年版及び下記の事項に則り実施する。但し，下記の事項が競技規則 2018 年版よりも優先される。

8-1　本競技会は，最初の競技種目の招集開始時刻に開始し， 最終競技種目の終了から 20 分後に終了するものとする。ただし，抗議，上訴または規律審査に属する問題がある場合，最終解決まで競技会は継続する。

8-2　競技会にエントリーすることで，参加者は競技会を管理する関連規則，規定，手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。

8-3　競技者がビデオカメラを着用，または他の方法で競技者に取り付けてはいけない。

8-4　競技者はレースの開始から終了までの間，電子通信機器を使用してはならない。

8-5　競技者は，スタートの合図の前に，前方へのスタート動作を起こした場合に失格となる。競技者が動いたことが全て失格となるわけではない。<u>例えば筋肉がピクッと痙攣するなどの意図しない動きは失格にならない。</u>スタートの合図を予想して明らかに前方へのスタート動作を起こした競技者が失格となる。

8-6　100 ｍマネキントウ・ウィズフィンの「マネキンの位置」の規則に「マネキン・ハンドラーはマネキンを自然に浮く深さで保持する 」を追加する。

8-7　決勝は A 決勝，B 決勝に分けず，1 ヒート（A 決勝）のみとする。

8-8　ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までに招集場所に集合し，オフィシャルの指示により整列すること。

9　大会記録／日本記録／世界記録について

9-1　大会記録は，日本記録と同じ種目で認められる。

9-2　JLA による日本記録の認定又は／及び ILS への世界記録申請にあたり，該当者全員の国籍を確認する。

9-3　ILS への世界記録の申請にあたり，該当者全員のドーピング検査を行う（ただし，マスターズは必須ではない）。

9-4　世界記録は，競技会初日の満年齢ではなく，JLA 競技規則「2.4 年齢区分」を適用して申請する。

10　認定審判員の選出

10-1　参加チームは下記のとおり、認定審判員を選出しなければならない。
選手 5～10 名＝1 名、同 11～20 名＝2 名、同 21～40 名＝3 名,同 41 名以上＝4 名。
また、何かの理由で審判員が参加できなくなった場合は、必ず代わりの者を選出すること。
両日にわたり必要人数の選出がない（＝競技会当日に必要人数の審判員の参加のない）チームは、本競技会への出場を認めない。(チーム全体の不参加とする)

10-2　参加する審判員は、デジエントリーにより審判員・スタッフ参加申し込みを行うこと。

10-3　選出する審判員は、C 級認定審判員資格以上を取得していること。
※2019 年 4 月 21 日（日）までに、必ず審判員資格を取得していること。
※申込締切期日までに、必ず審判員資格登録費をお振込下さい。

10-4　選出する審判員は 2 日間を通じて参加できること。なお、2 日間を通じて審判員を選出できないとき（やむを得ず参加日ごとに審判員が入れ替わる場合）は、主催者は距離が近い方の 1 名分の交通費（上限¥5,000 円）のみを支給する。

10-5　参加に関わる交通費、食事は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。

10-6　選出する審判員は、BLS の資格以上を所有していなければならない。
※2019 年 4 月 21 日（日）までに、必ず BLS 以上の資格を取得していること。

11　その他

11-1　競技会中に競技会主催者および競技会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。

11-2　競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。

11-3　競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

以上